

# 復興支援ボランティア活動報告No.3 1



**NaSPA 平山建設**

## 【「グリーングリーン」セカンドステージ】

成田高校インターアクトクラブのボラバス参加を契機に、

ロータリアンの友情、奉仕の心で、被災地の実情に根ざした復興支援

成田市の平山建設株式会社の仮設住宅への新品家具寄贈にNPOが協力



実施日 2月23日(日)  
 場所 宮城県山元町 町民グランド仮設住宅 箱根仮設住宅 ナガワ仮設住宅  
 参加者 NPO 会員：木下、森本、榎戸 平山建設株式会社様から4名  
 内容 当NPOの支援活動に共感していただいた平山建設株式会社の平山秀樹社長より、仮設住宅へ家具の寄贈の申し出があり、成田市の会社倉庫から家具を運搬してくれてくれた湯浅清茂取締役工事本部長ほか計4名の皆様と、家具の配達、設置、組立作業を、山元町内の3カ所の仮設住宅で行う。

★きっかけは成田高校インターアクトクラブのボラバス参加★



2011年3月11日の東日本大震災を契機に、同年11月に設立された当NPO法人では、この体験を次の世代に伝えようと【小中学生参加OK】の「親子ボラバス」を継続的に開催しています。各地で支援活動を行う中で、2012年6月からは、震災で自

宅と農地を失い、一時は絶望のどん底に沈みながらも再起に向けて、ご夫婦で仮設住宅に住み新たに土地を借りて農業再建に取り組む、宮城県山元町の斎藤一雄様ご夫妻を継続的に支援してきました。これまで、農地の瓦礫の撤去、ハウスの建設、収穫作業、収穫後の後片付け、農産物の販売などを継続的に実施しています。

そして、昨年8月に開催された「第10回夏休み親子ボラバス」に、森本の長男が所属する成田高校インターアクトクラブの部長である、平山建設株式会社平山秀樹社長のご令嬢が、お友達とともに参加していただいたことにより、宮城県山元町の状況を平山社長が知ることとなりました。

### ★平山社長の申し出が被災者の心を動かす★



もともと、ロータリアン同士で面識のあった平山社長から、森本へ、家具寄贈の申し出があったのは、それから間もなくのことでした。

そのご厚意にお応えしようと、森本の方で現地と調整しますが、社会福祉協議会など公的機関は手続き的な問題が煩雑で、なかなか事態は前に進みませんでした。

そんな折、当 NPO 法人の支援先でもある斎藤一雄様が、平山社長のお気持ちに心を動かされ、自ら調整役を引き受けてくれました。斎藤様は、各仮設住宅へのチラシ配布、要望の集計、当日の段取りなど、快く対応してくれました。

### ★山元町の仮設住宅に笑顔が弾けた日★



大量の家具の組み立て・搬送ということで、平山建設様の事前準備も大変だったと思われるのですが、完璧な準備で23日早朝には現地に赴いていただきました。意外に重いベッドの移動、ドレッサーの組み立て要望に追われながら、3カ所の仮設住宅を順次回り、18時過ぎまで作業は続けました。

先々で住民の方からは「無料でもらっていいのかい?」「ありがたいねえ」と感謝の言葉をいただき、作業の疲れも吹き飛びました。森本からは、受取にきていただいた方々に「成田山に参拝したら平山建設のことを思い出して下さい」とさりげなく添えると、「親戚が成田にいる」「成田で働いていた」という方も、少なからずいました。道路や防潮堤などの復興は進みつつありますが、全てを失った被災者の生活支援は、まだこれから。そんな中での、今回の平山建設様の申し出に心から感謝申し上げます。

【グリーングリーンフェイスブック】 <https://www.facebook.com/greengreen>

【グリーングリーンホームページ】 <http://greengreen.or.jp/>

お問い合わせ：NPO法人東京災害ボランティア GREENGREEN

[fwik3116@nifty.com](mailto:fwik3116@nifty.com) mobile:080-3503-6708

ボラバス担当：森本次郎